

「一億総監視社会」に道を開く共謀罪法を許さない!

安倍政権と与党は、民主主義の危機を憂い国会周辺に集う多くの市民の『共謀罪』反対の叫びに耳を傾けることなく、「共謀罪」法案について委員会での審議を打ち切る中間報告という禁じ手で、法案を15日午前8時前に強引に可決・成立しました。

社民党は、統一会派を組む自由党などととも、院外の皆さんとの連帯の意を込め、牛歩戦術で最後まで徹底的に闘いました。

社民党は、民主主義を破壊する安倍政権の度重なる暴挙に、満腔の憤りを込めて抗議します。

憲政史上、拭い難い汚点を残した

「共謀罪」法案をめぐるのは、さまざまな懸念や疑問は何ら解消されないどころか深まるばかりでした。

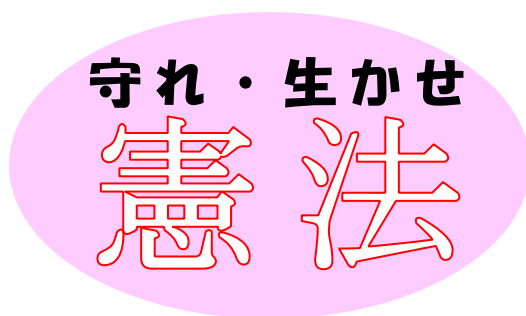
にもかかわらず、衆議院の審議入りからわずか2か月余、公聴会すら1度も開かず、法案に強く反対する国内外の広範な世論に背を向け、森友・加計両学園をめぐる重大疑惑に蓋をするように衆参両院で強行採決を重ねた安倍政権の暴走は、憲政史上に拭い難い汚点を残しました。

憲法9条改憲が視野に

安倍政権は、特定秘密保護法、集団的自衛権の行使を認めた「戦争法」に続き、憲法の基本原則を曲げる重大法案をまたも数の暴力で押し通したのです。特定



国会前で共謀罪廃止の声をあげる人々(6月15日)



秘密保護法で国に不都合な情報を隠して国民の知る権利を侵し、「戦争法」によって憲法9条をねじ曲げて自衛隊による海外任務を拡大させ、今度は「共謀罪」法案で捜査当局の権限をなし崩しに拡大し国民を徹底的に監視しようと目論んでいます。

そして一連の策動の先には、2020年までの憲法9条の改悪が視野に入っていることは疑いようもなく、安倍政権は日本をこれまでとは全く違う息苦しい社会に変質させようとしています。歴史に学ばない愚を繰り返す安倍政権を断じて許すことはできません。

ストップ安倍改憲!

社民党は、好戦的・強権的な本性を剥き出しにする安倍政権の暴政と徹底的に対決します。日本の針路を誤らせるあらゆる策動を食い止めるべく、国民の内心の自由を土足で踏みにじり監視社会に道を開く法律の問題点を、今後もさまざまな国会審議の場を通じて厳しく追及します。

社民党は、立憲野党と共闘を強化し、そして院外の幅広い市民の皆さんと力を合わせて、一日も早い「共謀罪」法の廃止と安倍政権の打倒に向け、党の総力を挙げ最後まで闘い抜きます。

安倍改憲を止めるため、政治を変えましょう。

社会新報

発行責任者 佐藤征治郎
埼玉版 2017年初夏号

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-37-5 ☎048-822-2171